

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	高齢者日常生活支援事業費 [緊急通報システム事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号 4	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)							
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input checked="" type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課			高齢者支援	係	課長名	石嶋 洋平	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	【施策名】 高齢者保健福祉の推進					施策番号	2 - 2	
						総合計画書 (ページ)	51	
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の高齢者であって、慢性疾患等により日常生活を営む上で、常時注意を要する状態にある者。			申請者数				
	→							
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
	緊急事態におけるひとり暮らし高齢者等の不安を解消するとともに、生活の安全を確保する。			緊急通報システム機器設置世帯数				
	→							
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
	緊急通報システムの申請希望があった場合、担当区域の高齢者ほっと支援センター相談員が自宅訪問し、対象者の状況把握を行う。同センターによる申請代行を受けて、市は内容確認を行い、利用承認の可否を決定する。決定後、東京消防庁に連絡の上、委託業者と日程調整し、緊急通報システムの機器を設置する。			緊急通報システム機器設置世帯数（既設分+新設分-廃止分）				
	→							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	0	0	0		
	成果指標	②の数値	件	既設 9 新設 0 撤去 6	既設 3 新設 0 撤去 3	0		
	目 標	②の目標値	件	新設 0 撤去 0	新設 1 撤去 0	新設 0 撤去 0		
	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 利用しやすい救急代理通報システム事業に一元化して利用の促進を図ることとした。							
3 経費	事業費（実績）		円	185,778	82,510	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財源	一般財源	円	117,778	58,510			
		特定財源	円	68,000	24,000			
	(うち受益者負担)		円	0	0			
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	1,016,778	920,510	825,000			
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く							
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く							